

《パッチワーク用スプレーのり》 キルトボンド



シュッとひと吹き、しつけいらす！薄くスプレーするだけで充分な“仮止め”効果があります。



『キルトボンド』がパッチワークの常識をかえます

キルトトップなどの“仮止め”に！

- キルティングをするとき、キルト芯と表布そして裏布のしつけがわりにとって便利です。
- パッチワークやアップリケ、ステンドグラスキルトなど“仮止め”が気軽にできます。

アレンジしだいでいろんな使い方ができます！

- 仕上げに、作品の周囲をパイピングするときにも便利です。
- アップリケのふちの“かがり縫い”やアイロンの型押しの際の代わりにも使えます。
- ファスナーやバッグの持ち手を作るときにも使用できます。
- ミシンキルトの安全ピンを使った“仮止め”の代わりにもなります。

デザインレイアウトの変更もラクラク！

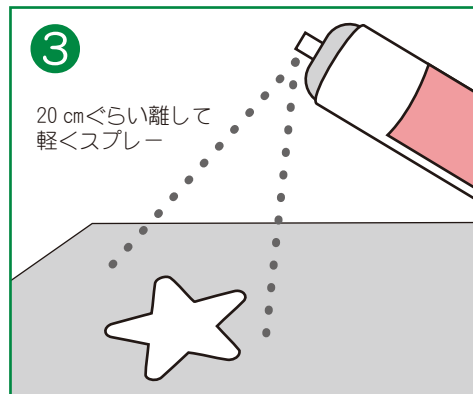
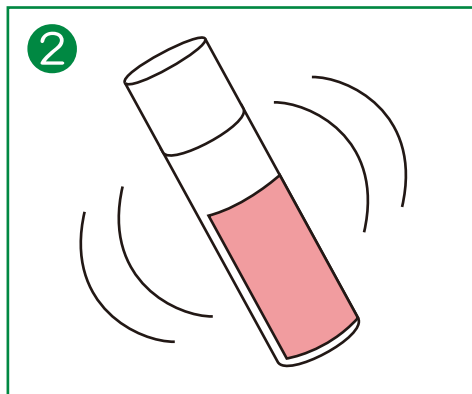
『キルトボンド』は、いちど貼っても簡単にはがすことができますから、レイアウト変更も思いのままです。

『キルトボンド』の特長

- 『キルトボンド』は、薄くスプレーするだけで充分な“仮止め”効果がありますから、素材がゴワゴワしたり針や糸がべたつくことはありません。
- 『キルトボンド』は、長時間にわたり“仮止め”効果があり、しかも貼り直しができますから、キルトトップなどの位置ぎめ（レイアウト）の変更などが自由自在にできます。
- 『キルトボンド』は、素材のもつ質感や色柄を損ねることがありません。（念のために端布などで、お試しになってからご使用ください。）
- 『キルトボンド』は、多量のピースワークやアップリケなどをまとめてスプレーできますから、パッチワーク作業がスピーディーになります。
- 『キルトボンド』は、しみ込み防止用接着芯などの使用の必要はありませんから、手軽に“仮止め”作業ができます。

(※アイロンをご使用の場合は、先にアイロンがけしてから『キルトボンド』をお使いください。)

『キルトボンド』の正しい使い方



新聞紙など大きめの紙を敷き紙にしてください。そこに“仮止め”したい布(型紙)などの裏面を上にして置いてください。

『キルトボンド』をスプレーする前によく振ってください。

必ず 20 cm ぐらい離して、全体に均一になるように軽くスプレーしてください。スプレー後、10 秒ぐらいおいてから貼るようにしてください。

※ノズルを布に近づけすぎたり、1か所に集中してスプレーしないように注意してください。スプレー量が多すぎると、べたついたり、布がゴワゴワし針通りが悪くなる場合があります。